

大正 年 月 日

宮内大臣

内閣總理大臣

濟

官中第一三號

案起
大正五年十月十四日

裁可	決定
年 月 日	年 月 日
施 行	
年 月 日	

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官



大正五年十月五日

各省次官

樞密院書記官長

貴衆兩院書記官長

内閣書記官長

行政裁判所長官
會計検査院長
東京府知事
警視總監

近ク長慶天皇皇代ニ列セラルルノ件詔書公
布被為在趣ニ有之候處右詔書公布ノ翌日
賢所皇靈殿神殿ニ親告ノ儀被為行
筈ニ付豫メ左記要項承知相成度
追テ左記要項ニ依ル貴廳奏任官總代人名

付箋

付箋

一貴衆兩院ニ貴廳奏任官總代人名及議員總代
人名未ル十八日迄ニ回報相煩度

右通知ト同時ニ例文ヲ以テ内閣部内各局へ
毛通知ノコト

各官ノ總代人名
十月二十日通知ス
武部職ハ

行政裁判所長官
會計検査院長
東京府知事
警視總監

付箋

本通知ハ總テ極秘親展ヲ以
テ并送ノ下

追テ左記要項ニ依ル貴廳奏任官總代人名

付箋

左記要項ハ別紙

總代人名及議員總代
ハ報相煩度

各官ハ總代人名
十月二十日通知ス
式部職ハ

右通知ト同時ニ例文ヲ以テ内閣部内各局ハ
モ通知ノコト



賢所皇靈殿神殿：親告儀
。參列員

大勲位以下勅任待遇以上（大祭節ニ全ジ）
伯爵子爵男爵總代各一人
貴族院議員總代三人
衆議院議員總代三人
各廳奏任官總代一人
宮内奏任官總代一人

。時刻

午前九時四十分賢所参集所参集

○ 服装

大禮服、正装、服制ナキ者ハ通常禮

服

○ 期日

親告事項公布(詔書公布)ノ日ノ翌日(十月二十二日ノ筈)

秘

賢所皇靈殿神殿ニ親告ノ儀

○ 参列員

大勲位以下勅仕待遇以上(大祭ノ節ニ同シ)

伯爵子爵男爵總代各一人

貴族院議員總代三人

衆議院議員總代三人

各廳奏仕官總代一人

宮内奏仕官總代一人

○ 時刻

午前九時四十分賢所参集所ニ参集

○ 服装

大禮服、正装、服制ナキ者ハ通常禮服

○ 總代人名ハ未ル十九日迄ニ式部職ハ通知ノコト

○ 期日

親告事項公布日ノ翌日(十月二十二日ノ筈)

○公文發送ハ右公布日

先例

(官報 大正十年十一月二十五日號外宮廷録事)

賢所、儀竝皇靈殿神殿ニ奉告、儀皇
太子裕仁親王殿下攝政就任ニ付明二十
六日賢所ニ祭典ヲ行ハセラル皇靈殿神
殿ニ奉告セラル

一親王、王、王族、公族、大勲位、親任官、國務大
臣禮遇、前官禮遇、貴族院議長、衆議院議長、
勲一等旭日桐花大綬章、功一級、親任官待遇、公
爵、從一位、勲一等、高等官一等、貴族院副議長、
衆議院副議長、爵者間祇候、候爵、正二位、高等

官二等、功二級、錦鷄間祇候、勅任待遇、伯子
男各爵總代各一人、貴族院議員總代三人、衆
議院議員總代三人、各廳奏任官總代各一人、

宮内奏任官總代一人

右午前九時四十分賢所參集所ニ參集

服裝 男子ハ大禮服、正裝、服制ナキ者ハ通常禮服、

女子ハ通常服又ハ挂袴禮服

參考

皇室祭祀令

明治四十一年九月十九日
皇室令第一號

第一條 皇室、祭祀ハ他ノ皇室令ニ別段ノ定アル場合
ヲ除ク、外本令ノ定ル所ニ依ル

第二條 祭祀ハ大祭及小祭トス

第八條 大祭ニ天皇皇族及官僚ヲ率ヰテ親ラ祭
典ヲ行フ

天皇喪ニ在リ其ノ他事故アルトキハ前項ノ祭典ハ
皇族又ハ掌典長ヲシテ之ヲ行ハシム

第十九條 左ノ場合ニ於テハ大祭ニ準ジ祭典ヲ行フ

一 皇室又ハ國家ノ大事ヲ神宮賢所皇靈殿

神殿神武天皇山陵先帝山陵ニ親告スル
トキ

ニ 神宮ノ造營ニ因リ新宮ニ奉遷スルトキ

三 賢所皇靈殿神殿ノ造營ニ因リ本殿又ハ

假殿ニ奉遷スルトキ

四 天皇太皇太后皇太后ノ靈代ヲ皇靈殿ニ奉

遷スルトキ

○ 前項ノ規定ニ依リ祭典ヲ行フ期日ハ之ヲ勅定シ
宮内大臣之ヲ公告ス

第 號

起 案 大正十年十月十四日

裁可	決定
年 月 日	年 月 日
施 行	
年 月 日	

内閣總理大臣了

内閣書記官長

内閣書記官



長慶天皇皇代ニ列セラルル件賢所皇靈殿
神殿親告ノ儀内閣奏任官總代

内閣書記官館 哲二

(赤 粹 紙)

外
官移

塚

長慶天皇皇代ニ列セラルルニ付賢所皇靈殿神殿ニ
親告ノ儀ニ關シ奏任官總代參列ノ件

記

內閣

大使館一等書記官從五位勳五等 野田良治

外務省

(赤 粹 紙)

内務省大臣任内月總代
考證之官 一里地 直一

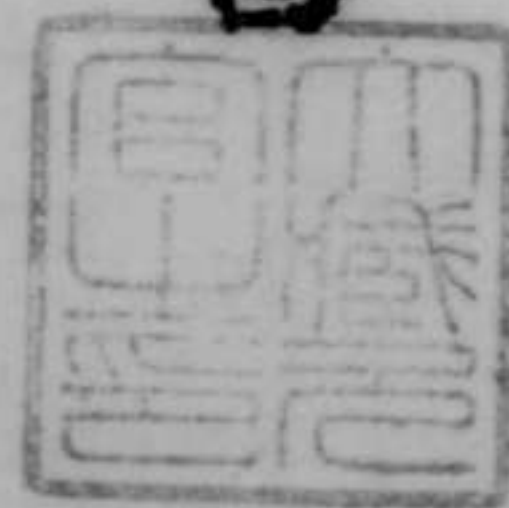
内閣

官職第一二八號

大正十五年十月十六日

大藏次官田

昌



内閣書記官長 塚本清治殿

近々長慶天皇皇代ニ列ヤラル、ノ件 書公布被爲在其ノ翌日賢所皇靈殿
神殿ニ親告ノ儀被爲行候節當省奏任官總代左記ノ通りニ有之候

左記

營繕管財局技師 片岡 眞

大藏省

秘

陸密第三〇一號

賢所皇靈殿神殿ニ親告ノ儀ニ關スル件通牒

大正十五年十月十八日 陸軍次官 畑 英 太 郎

内閣書記官長 塚 本 清 治 殿

十月十五日附内閣宮甲第一三號首題ノ件左記ノ者奉任官總代トシテ
參列スヘキニ付通牒ス

左 記

陸軍歩兵大佐 小 磯 國 昭

陸 軍

官房第二ニシテ

大正十五年十月十九日

海軍次官 大角 岑 生

内閣書記官長塚本清治殿

總代ノ件

長慶天皇皇代ニ列セラルルニ付詔書公布ノ翌日賢所皇靈殿神殿ニ親告
ノ儀被爲行候際奏任官總代トシテ參列セシムヘキ者左ノ通指定セラレ
候

右通知ス

奏任官總代 海軍大佐 山 田 正 興

終

海 軍

海 軍

司法省入庶第七之五

大正十五年十月十八日

司法次官 林 頼三郎

内閣書記官長 塚本清治殿



近々長慶天皇皇代ニ列セラルルノ件詔書
公布被爲在趣ニ有之右詔書公布ノ翌
日賢所皇靈殿神殿ニ親告儀被爲行
當日参列可致當省所管奏任官總代ハ
左記ノ通ニ有之候

記

司法書記官 大原 昇

大正十五年十月十九日

文部次官 松浦鎮次郎



内閣書記官長塚本清治殿

回答

十月十五日付内閣官甲第一三號ヲ以テ長慶
天皇皇代ニ列セラルルノ件 賢所皇靈殿神
殿ニ親告ノ儀ニ關シ御通牒ノ處當省ヨ
リ參集スヘキ奏任官總代左記ノ通ニ選定
致シタルニ付御了知相成度

記

文部技師 從五位 高橋理一郎

秘發第五八二號

大正十五年十月十八日

農林次官阿部壽准



内閣書記官長殿

長慶天皇皇代之列セラルル件之關ニ親告ノ儀被爲
行當日当廳ヨリ参列スヘキ奏任官總代左記ニ通
ニ付御了知相成度此段及御通知候也

記

農林技師 園田三次郎

三十三

大正十五年十月十八日

商工次官男爵四條隆美



内閣書記官長塚本清治殿

來ル二十二日

長慶天皇 皇代ニ列セラルルニ付賢所皇
靈殿神殿ニ親告ノ儀被為行ニ付當
日當省奏任官總代トシテ左記ノ者參
列セシメ候此段及御通知候也

記

商工書記官 原田幾造

省

(小紙納)

美濃十三行郵紙

宮秘内第ニ八九番

大正十五年十月十六日

逕次官 桑山 鐵男



内閣書記官長塚本清治殿

奏任官總代人名通知之件

(十月十五日内閣官署第一三三号照會)

右左記、者選定致候、付御了知相成度候
記

地方海負審判所理事官 松下武晴

(小川製)

鐵道省

鐵秘第一九〇二號

大正十五年十月十八日

鐵道次官 八田 嘉

明



內閣書記官長塚本清治殿

候
拾月拾五日付內閣宮甲第一三號ニ依ル當省奏任官總代人名左記ノ通ニ有之

記

奏任官總代

鐵道技師

木

原

英

一

本月十五日附内閣宮甲第一三號追
書ヲ以テ御照會、本院奏任官總
代人名左記之通ニ有之候

樞密院書記官堀江季雄

右及回報候也

大正十五年十月十八日

樞密院書記官長二上兵治



内閣書記官長塚本清治殿

内閣書記官大津幸右衛門
大正十五年十月十八日
式及回所
升入
本月十五日
内閣書記官大津幸右衛門
大正十五年十月十八日
式及回所
升入
本月十五日

秘第八二號

會計検査院

大正十五年十月十八日

會計検査院書記官大津幸右衛門

内閣書記官大津幸右衛門

本月十五日
内閣書記官大津幸右衛門
大正十五年十月十八日
式及回所
升入
本月十五日
内閣書記官大津幸右衛門
大正十五年十月十八日
式及回所
升入
本月十五日

大津幸右衛門

行政裁判所第一五七

大正十五年十月十六日

行政裁判所改官於洼田静太郎



内閣書記官長 堀本清治殿

本月十五附内閣官甲第一三號ヲ以テ御懇會ノ當番参列
スル審廳奏任官總代人名左記ノ通ニ有之候此段及
回報候也

記

行政裁判所評定官 玉井忠一郎

行政裁判所

秘

貴族院 三〇三

大正十五年十月十八日

貴族院書記官長成瀬達



内閣書記官長塚本清治殿

近々長慶天皇皇代ニ列セラレルノ件詔書公布翌日
賢所皇靈殿神殿ニ親告ノ儀被為行候節本院
参列員各總代左記ノ通ニ有之候此段及御
通知候也

貴族院議員總代

貴族院議員伯爵堀田正恒

貴族院議員大島健一

不送書片

同
奏任官總代
貴族院書記官
小林次郎
山崎龜吉

衆議院

衆議院第一三四號

大正十五年十月十八日

衆議院書記官長 中村藤兵衛

内閣書記官長 塚本清治殿

長慶天皇皇代ニ列セラルルノ件詔書公布被爲在候節賢所皇靈殿神殿ニ
親告ノ儀ニ參列可仕議員總代及奏任官總代左記ノ通ニ有之候此段及通
知候也

衆議院議員總代

正七位勳四等 原 脩 次郎

正五位勳三等 菅 原 傳

本 多 貞次郎

奏任官總代

衆議院書記官從五位 田 口 彌 一

本書ハ關電臺、手許ニアル也

大正十五年十月十六日

警視總監

關電臺宛

本月十五日附内閣官甲第一三子照会、當日参列スヘキ
当廳奏任官總代方以ノ通、右之ハ此段及回報也

記

警視廣書以る旨

石田

敬告

内閣

寅旨祕第七八號

大正十五年十月十八日

東京府知事 平塚 廣

義



内閣書記官長 塚本 清治 殿

本月十五日付内閣宮中第一三號ヲ以テ御照會相成候本府奏任旨總代ノ
件左記ノ通ニ有之候條此段及回答候也

記

地方事務官 正木 虎藏

以上

東京府

供
駁

總卷三

五

內閣書記官

大正十五年十月二十日

式部長官侯爵井上勝之助

內閣總理大臣若槻禮次郎殿

長慶天皇ヲ皇代ニ列セラレタルニ付明二十二日
親告儀被為行候條親任官同待遇勅任
官同待遇並奏任官總代一人午上明九時四
十分賢所參集所參集候様御取計
相成度候

追行服裝大禮服正裝且總代人名至急御通知有之度候